

合唱コンクールへむけて

少しずつ涼しくなって、秋を感じられるようになりました。いろいろな「〇〇の秋」があります。中学校の秋といえば“文化発表会”です。今週末の金曜日、あと4日にせまりました。

昼食時間に課題曲や自由曲が流れ、3年生は朝や放課後に練習を重ねています。みなさんも3年生に負けないように、本番に向けて限られた時間ですが、素晴らしいハーモニーに仕上げてください。



これまでの練習の様子を見る限りでは、多くの人から『苦手だから・・・』という雰囲気を感じられます。そこで、みなさんの良いところを思い出してください。みなさんの良いところは、最後まで全力でがんばるです。水泳大会でも大会でも苦手な人が最後まで手を抜かずに泳いでいました、

走っていました。その時その時で自分の全力を出していました。

合唱も同じように考えてみてはどうでしょうか。歌うことが苦手でも、歌詞を覚える・しっかり口をあけて大きな声を出す。その結果が素晴らしいハーモニーを生みだすのです。



水泳大会や体育大会では一人であるのに対して、合唱はクラスの仲間とすることです。一人で最後までやりきるより、ある意味“楽”なのです。仲間とやることで助け合ったり、緊張もみんなで分かち合って、心強くなれるはずです。「自分くらい声が小さくても、誰かが出してくれる」と思う人が増えるとハーモニーが成り立ちません。クラスでやるから・集団でやるからこそ、全力で取り組んでほしいのです。また、不思議なことに「隠れていた自分の力」が集団の力によって引き出されることもあります。そんな経験をぜひ味わってほしいのです。

明日は最後の体育館での練習

仕上げ・調整です！

